

地方創生特別委員会

産業部産業振興課

浜松市中心市街地活性化ビジョンの策定について（修正案）

1 趣旨・目的

令和7年12月12日の地方創生特別委員会において報告しました「浜松市中心市街地ビジョン（案）」の策定について、パブリック・コメントの実施を経て、別紙のとおり修正案を作成しましたので、ご報告いたします。

2 報告資料

資料1 パブリック・コメントに対する市の考え方

資料2 浜松市中心市街地活性化ビジョン（修正案）

浜松市中心市街地活性化ビジョン解説編（修正案）

3 募集結果

- (1) 意見提出者数 25人・2団体
- (2) 意見数内訳 54件（提案13件 要望8件 質問15件 その他18件）
- (3) 提出方法内訳 持参(0) 郵便(0) 電子メール(20) FAX(0) 説明会等(34)
- (4) 案に対する反映度 案の修正10件 今後の参考7件 盛り込み済7件 その他30件

4 主な意見と市の考え方

次項参照

5 今後の予定

令和8年3月17日

パブリック・コメントの内容及び市の考え方の公表

令和8年4月

浜松市中心市街地活性化ビジョン施行

浜松市中心市街地活性化ビジョン（案） パブリック・コメント
 主な意見と市の考え方

意見（ページ等）内容	案に対する 反映度	市の考え方
<p>◆VISION（ビジョン）に関する意見 （4件）</p> <p>質問 1、質問 2、提案 2、提案 3</p> <p>(P.5)</p> <p>世界水準のまちとは具体的にどのような考え方が明確にして欲しい。</p>	その他	<p>他都市との比較ではなく、本市ならではの強みや魅力を活かし、市民の暮らしや働き方、都市機能やまちの魅力などの質が総合的に高いレベルで目指すことを表しています。</p> <p>中心市街地への来訪理由には住む、学ぶ、楽しむなど様々なものがあるが、観光、企業誘致、雇用など地方都市としてもグローバル化の進展に対応する必要があることを背景とし、地域の歴史・文化等の特長を地域資源として活かし、地域幸福度（Well-Being）を高めていくことを指します。</p>
<p>◆VALUE（バリュー）に関する意見 （2件）</p> <p>提案 9、要望 5（P.9）</p> <p>商業的な観点以外にも、子どもたちが、あそび、まなびを得られる構想も追加して欲しい。</p>	案の修正	<p>医療・介護・子育て支援など多様なサービスが安心を支える場所であること、次世代を担う子どもたちをはじめ多くの人々が、まちなかで過ごすほど浜松への愛着と誇りが深まることの説明を加筆し、修正しています。</p>
<p>◆VALUE（バリュー）に関する意見 （1件）</p> <p>質問 6（P.9）</p> <p>イラストに「教育機関の集積」とあるが、常葉大学浜松キャンパスの駅南への移転を指しているのか。</p>	その他	<p>教育機関の集積とは、静岡文化芸術大学に加え、2023年に開校した浜松工科大学自動車大学校と今後予定される常葉大学浜松キャンパス及び浜松調理菓子専門学校を中心市街地への移転を指します。</p>
<p>◆MISSION（ミッション）および VISION（ビジョン）全体に関する意見 （1件）</p> <p>提案 12（P.15）</p> <p>浜松市のSDGsなど環境分野の取り組みとの関連性を示して欲しい。</p>	案の修正	<p>脱炭素社会への移行も意識した活発な投資とインフラ整備は、地域経済の持続可能性や活性化をもたらし、エリア全体の可能性を引き出すことの説明を加筆し、修正しています。</p>
<p>◆用語に関する意見（1件）</p> <p>提案 13（P.16）</p> <p>「クリエイティブ」「クリエイター」という言葉が特定の人を指し、当事者ではないと感じてしまう人もいるのではないかと感じた。</p>	案の修正	<p>以下の用語解説を追加しています。</p> <p>「クリエイティブ」 新しいアイデアや独創的な価値を創造する姿勢や能力を指す。特別な才能ではなく、誰しものが備えているもの。</p> <p>「クリエイター」 新しいアイデアや独創的な価値を創造する人。クリエイティブな活動を行う全ての人。</p>

浜松市中心市街地活性化ビジョン(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和7年12月から令和8年1月にかけて実施しました浜松市中心市街地活性化ビジョン(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等25人・2団体から54件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市中心市街地活性化ビジョン」を策定し、令和8年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市中心市街地活性化ビジョンに対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和8年3月

浜松市産業部産業振興課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2285

FAX 053-457-2283

Eメールアドレス

shougyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和7年12月19日から令和8年1月19日		
【意見提出者数】	25人・2団体		
【意見数内訳】	54件 (提案13件、要望8件、質問15件、その他18件)		
【提出方法】	持参(0) 郵便(0) 電子メール(20) FAX(0) 説明会等(34)		
【案に対する反映度】	案の修正	10件	今後の参考 7件
	盛り込み済	7件	その他 30件

目次

- 浜松市中心市街地活性化ビジョン(案)
 - MISSION－使命・存在意義－(意見数 1件)・・・2ページ
 - VISION－理想の将来像－(意見数 5件)・・・2ページ
 - VALUE－価値観・行動指針－(意見数 7件)・・・3ページ
- 浜松市中心市街地活性化ビジョン資料編
 - 1 浜松市中心市街地ビジョン策定の背景
 - (1) 趣旨(意見数 0件)
 - (2) 策定に至った背景・経緯(意見数 0件)
 - 2 本ビジョンの位置づけ
 - (1) 策定の流れ(意見数 0件)
 - (2) 中心市街地活性化ビジョンの概要(意見数 0件)
 - (3) 策定の意義(意見数 0件)
 - 3 計画期間(意見数 0件)
 - 4 協議体制(意見数 1件)・・・4ページ
 - 5 現状と課題(意見数 3件)・・・5ページ
 - 6 中心市街地の目指す姿・将来像
 - Mission(ミッション): 使命・存在意義(意見数 0件)
 - Vision(ビジョン): 理想の将来像(意見数 2件)・・・5ページ
 - Value(バリュー): 価値観・行動指針(意見数 4件)・・・6ページ
 - 7 ビジョンの実現に向けて(意見数 0件)
 - 8 用語解説(意見数 0件)
 - その他(意見数 31件)・・・7ページ

●浜松市中心市街地活性化ビジョン（案）

MISSION—使命・存在意義—（意見数 1件）

提案 1	<p>他地域が「未来を紡ぐ」というコンセプトを掲げている。</p> <p>ミッションにある「未来へ紡ぐ」という文言は前述のものと酷似しており、浜松市としての独自性がないように感じられた。</p> <p>創造都市をイメージする「つくる」や、新規産業をイメージする「拓く」、経緯の構造や繊維産業をイメージする「綾なす」など、浜松らしいミッションの設定が望ましいと考える。言葉一つだが、ミッションのワード選定の時点で、創造性や新規性を感じられると良いと思う。</p>
-----------------	--

【市の考え方】その他

本市を象徴する言葉として「やらまいか」という方言があり、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表しています。これを合言葉に楽器産業や輸送用機器産業、光・電子産業など世界を代表する企業を輩出し、成長してきました。過去から続く「やらまいか」の精神を受け継ぎ、新産業創出や文化の発展を目指す意味と本市の三大産業の一つである繊維産業が地域発展の礎を築いたことを踏まえ、「未来へ紡ぐ」というキーワードをコンセプトとして掲げました。

VISION—理想の将来像—（意見数 5件）

質問 1	“世界水準のまち”とは、具体的にどのようなものか。
質問 2	<p>“世界水準のまち”にするために、キャッチコピーの中で「歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する」としているが、市民がそれらを実感できる必要があると思う。</p> <p>世界水準のまちづくりにおいて、市民の生活はどのような形になるのか。</p>
提案 2	<p>「世界水準のまち」という記載が何方所かに見られますが、「世界水準のまち」と聞くと、東京、ニューヨーク、ロンドンなどを思い描いてしまいます。</p> <p>ただ、歴史、文化、芸術、学術、産業などのすべての面で浜松市が前記の様な都市に匹敵するまちをつくること（目指すこと）は現実的ではないと思いますし、市としてもそのような都市を目指しているのではないものと推察します。もう少しフォーカスを絞って、浜松が目指す「世界水準のまち」とは何かをより具体的、明確に記載してください。</p>
提案 3	<p>【意見】</p> <p>多様化が進み、価値観や評価軸が一様ではなくなっている現在において、「世界水準」という言葉が、どのような前提や考え方に基づいて用いられているのかが、やや読み取りにくいと感じました。あわせて、どのような状態になれば、その水準に近づいた、あるいは達成したと言えるのかという点も分かりにくいと感じています。</p> <p>【提案】</p> <p>「世界水準」という表現が特定の比較や序列を意味するものではないのであれば、その意図や位置づけに加え、どのような考え方でその実現を</p>

	<p>捉えているのかを補足的に示してはどうかと考えます。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市との単純な優劣ではなく、独自性や質を重視する考え方なのか ・完成形を目指すのではなく、継続的に更新されていく状態を指すのか <p>といった点が示されることで、理解が深まるのではないのでしょうか。</p> <p>【理由】</p> <p>目指す姿の前提や到達の考え方が共有されないままでは、市民ごとに解釈が分かれ、ビジョンとしての共通理解や共感につながりにくくなると感じたためです。</p>
--	--

【市の考え方】 その他

ここでいう世界水準とは、他都市との比較ではなく、本市ならではの強みや魅力を活かし、市民の暮らしや働き方、都市機能やまちの魅力などの質が総合的に高いレベルを目指すことを表しています。

中心市街地への来訪理由には、住む、働く、学ぶ、楽しむなど様々なものがありますが、観光、企業誘致、雇用など地方都市としてもグローバル化の進展に対応する必要があることを背景とし、地域の歴史・文化等の特長を地域資源として活かし、地域幸福度（Well-Being）を高めていくものです。

提案 4	<p>「歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち」になることは好ましいが、「創造」し、対外に向けて「発信」をしていくためには、その起点となるインプットの場所も必要であると考えます。図書や資料、芸術品、郷土品など、創造性を育むには学術的な基盤や、地域固有の特色を市民が学ぶ場所も重要なのではないだろうか。既存の施設も、10～20年後を見据えた中長期的なビジョンのなかでどのように活用、拡充、場合によっては縮小や統一していくのか、方針が読み取れると市民としては安心して行動指針を支援できる。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

VALUE—価値観・行動指針—（意見数 7件）

要望 1	<p>中心市街地活性化は官だけではできない。民間活力についての考え方を説明してほしい。</p>
要望 2	<p>浜松市は産業が栄えているが郊外が発展し、中心市街地に人が集まらない。今までの成果や反省を整理して、民間の力を大いに活用し、浜松らしい素晴らしい街ができることを期待している。</p>
その他 1	<p>浜松市の活性化を目的として複数の有力企業が共同出資してできた会社があり、この企業には期待している。</p>

その他 2	様々な企業が進出するなど、中心市街地の活性化に追い風が吹いていると感じているので、うまく進めてほしい。
その他 3	人を呼ばないと賑わいは生まれないので、誘客施設としてアクトシティを活用するなどして、音楽のまちづくりを進めてほしい。

【市の考え方】盛り込み済

VALUE「成長を止めない。未来を現実。」の中でPoint01として、「活発な民間投資によるエリアリノベーションにより新たな価値が創出されるまち」を目指します。

質問 3	まちづくり会社は想定しているか。事業主体となるのは誰か。
-----------------	------------------------------

【市の考え方】その他

現在、市内には都市再生推進法人の認定を受ける団体はありませんが、複数団体が認定取得を検討しており、民間主導のまちづくりであるエリアマネジメントが進展すると考えています。

提案 5	【駅の南北】 の駅とは、浜松駅のことだと思われるが、中心市街地には新浜松駅・第一通り駅・遠州病院駅などの遠州鉄道の駅も存在している。 【浜松駅の南北】 とした方が分かりやすい。(2箇所)
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

- 浜松市中心市街地活性化ビジョン（案）P4
- 浜松市中心市街地活性化ビジョン資料編 P12
- （修正前）駅の南北
- （修正後）浜松駅の南北

●浜松市中心市街地活性化ビジョン（資料編）

4 協議体制（意見数 1件）

要望 3	協議体制に記載のある、中心市街地活性化委員会と浜松まちなかにぎわい協議会について詳しく説明をしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

中心市街地活性化委員会は、市の策定組織で、幹事会、検討部会等で協議を進めてきました。浜松まちなかにぎわい協議会は、中心市街地の商店会や商店、自治会等で組織する団体で、市や浜松商工会議所も参画しています。ビジョン策定におい

ては、市の提案を協議する役割を担っていただきました。

5 現状と課題（意見数 3件）

質問 4	「5 現状と課題」は、計画開始から20年の間にどこかのタイミングで検証は行うのか。
---------	---

【市の考え方】その他

ビジョンと併せて中心市街地活性化基本計画も策定していますが、同計画は5年ごとに策定し、進捗管理していきます。

また、浜松市が実施する事業については1年ごとに事業評価をしているため、その都度目標を設定し計画の進捗を管理していきます。

質問 5	中心市街地の人口増加理由は何か。
---------	------------------

【市の考え方】その他

JR浜松駅に近く、交通の結節点でもあり、利便性が高いことから、マンション開発が進んだことが要因だと推察します。

提案 6	棒グラフには浜松市全体と記載してあることと、左隣には【中心市街地の人口の推移】が記載してあるためグラフタイトル名を【浜松市全体及び中心市街地の年間商品販売額の推移】にした方が統一感がある。
---------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン資料編

(修正前) P4. 浜松市及び中心市街地の年間商品販売額の動向

(修正後) P5. 浜松市全体及び中心市街地の年間商品販売額の推移

6 中心市街地の目指す姿・将来像

Vision (ビジョン) : 理想の将来像 (意見数 2件)

要望 4	イラストでは中心市街地から浜名湖が近く、違和感を覚える。
提案 7	各ページともに明るいイラストを使用して未来図を描いているが、9ページの「浜名湖の遊覧船」のイラストは市街地のテーマからずれているので、削除してほしい。 (浜松市全体と広く捉えれば良いのかもしれないが、今回は中心市街地に絞った方が良いと思う)。

【市の考え方】その他

浜松市の中心市街地であることを表現するため、本市の全景として右上部に山間部、左下部に浜名湖を描いております。

Value (バリュー) : 価値観・行動指針 (意見数 4件)

提案 8	11 ページの関連キーワードの項に「・・・歩行者空間整備 (トランジットモール、遊歩道、ネットワーク)・・・」と記載されている。「地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) (2026) (案)」では、ほぼ同様の内容で「公共交通機関・自転車→ウォーカブルなまちづくり」と記載されている。同じような意味をもつのであれば、用語を統一するとか、やさしい言葉(「歩行者に優しいまち」など)で表現してはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン資料編

(修正前) P11. 歩行空間整備

(修正後) P12. ウォーカブルなまちづくり

質問 6	12 ページのイラストに「教育機関の集積」とあるが、常葉大学浜松キャンパスの駅南への移転を指しているのか。 現在の中心部の教育機関の中核としては静岡文化芸術大学があるが、中心市街地の北東の角にあり、今回移転が予定されている常葉大学は南東の角となり、キャンパスは遠く離れている
-----------------	--

【市の考え方】その他

教育機関の集積とは、静岡文化芸術大学に加え、2023 年に開校した浜松工科自動車大学校と今後予定される常葉大学浜松キャンパス及び浜松調理菓子専門学校を中心市街地への移転を指します。

提案 9	【心豊かな暮らしへ。浜松愛をもっと。】のバリューの中に、「豊かさを実感する」とありますが、商業的な観点以外にも、豊かな自然環境、持続可能で包括的な街並の中でのびのびと育つことでセレンディピティが得られ、豊かさを実感できるのではないのでしょうか。子どもたちが、あそび、まなびを得られる中心市街地の構想になると嬉しい。
要望 5	10～20 年後を見据えた中長期的なビジョンの中に、未来を担う「子ども」に関する記述がない点が気になった。今後、CREATIVE HUB を支えていく「ひと＝子どもたち」を育み、初めて価値を継ぐことができると考える。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン (案) P5

(修正前)

「浜松市の中心市街地では、新しいお店と歴史ある老舗が肩を並べ、日々の暮らしに彩りを添えています。多彩なサービスや人との出会いが新鮮な発見と心地よさをもたらす、誰もが自分らしく過ごせる場所です。まちなかで過ごせるうちに、浜松への愛着と誇りが自然と育まれていきます。」

(修正後)

「浜松市の中心市街地では、新しいお店と歴史ある老舗が肩を並べ、日々の暮らしに彩りを添え、多彩なサービスや人との出会いが新鮮な発見と心地よさをもたらします。また、医療・介護・子育て支援など多様なサービスが安心を支え、誰もが自分らしく過ごせる居場所となっています。次世代を担う子供たちをはじめとした多くの人々が、まちなかで過ごすほど、浜松への愛着と誇りが自然と深まっていきます。」

その他（意見数 32件）

要望 6	<p>浜松市の中心市街地に求められる「基本」は、浜松という都市の本質を次世代に示す核を作ることである。中心市街地は浜松の仕事、技術、人の強さを可視化する場所であるべきだ。</p> <p>特に重要なのが現代の歴史資料館であり、太古から現在までの人の営みを一本の流れとして体感できる施設が必要である。浜松は自然、文化、工業力、戦後の復興によって形成されており、これらを連続した「生の流れ」として示すべき。</p> <p>資料館は世界水準であり、浜松力そのものを示す施設でなければならない。特に、工業都市としての事実を正面から語る必要がある。子どもたちが「ここで働きたい」と思える街づくりの核となるべき。</p> <p>中心市街地活性化とは、都市の核を可視化し、次世代に引き渡すことであり、資料館を中心としたまちづくりこそ、浜松市の中心にふさわしいと考える。</p>
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

提案 10	中心市街地の区域が明確になっていない。中心市街地の位置及び区域を記載した方が分かりやすい。
提案 11	「浜松市中心市街地」のエリア、範囲についての記載がみあたらない。具体的なエリアを示してほしい。
質問 7	中心市街地の範囲はどこか。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン資料編

(修正前) なし

(修正後) P4. 計画区域 区域図の追加

質問 8	ビジョンに対する意見を求める中で、例えば松菱跡地についてなど具体的な意見がでてくることもあると思うがいかがか。
質問 9	東京の友人が浜松を訪れた際に松菱跡地を見て「いつまで空き地のままにしておくのか」と漏らしていた。当該場所についてはどのような扱いとなるのか。
質問 10	<p>中心市街地の商業は売り場面積、販売額ともに大きく衰退しており、駅南のサザンクロス商店街やザザシティ近くの商店街はシャッターが目立つ。</p> <p>旧松菱跡地については、地元の商店主から精神的につらいものがあるため、何とかしてほしいという声があった。</p> <p>特に松菱跡地に関して、市としてどのように働きかけているのかをお聞きしたい。</p>
質問 11	松菱跡地についてどう考えているか。

【市の考え方】その他

松菱跡地については、民間事業者が所有しているため、本ビジョンの方針等には含まれていません。松菱跡地は市街地再開発事業の認可を受けていることから、再開発の施行事業者に対して過去に2回事業の進捗を図るよう勧告を行っています。

質問 12	1999年の第1期計画から現時点までの達成成果と反省点を反映した内容を示すことができるか。
質問 13	過去の中心市街地活性化基本計画（第1期・第2期）はその達成度合いについてどのような評価をしているのか。
質問 14	第1期計画と第2期計画の反省点や評価を踏まえて策定しているのか不明である。
要望 7	<p>これまで中心市街地活性化の試みは幾度となく計画され、その都度頓挫し、現在は平成27年に認定された「浜松市中心市街地活性化基本計画」に沿って進められているのだと認識している。新しいビジョンを掲げるなら、過去の失敗を反省し、平成27年の計画の成果と分析を知りたい。</p> <p>中心市街地の活性化は物理法則であり、「歩く仕組み」をつくらなければ成功しない。</p>

【市の考え方】その他

計画とは、中心市街地活性化ビジョンではなく中心市街地活性化基本計画を指します。中心市街地活性化基本計画については、前回計画の評価を踏まえ策定しております。当該評価については、以下のURLで公開しております。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sangyoshinko/conference/270122.html>

要望 8	ビジョンにおけるゾーン分けについて説明してほしい。
-----------------	---------------------------

【市の考え方】その他

ビジョンは、中心市街地の20年先の将来像をどのような価値観や行動指針で実現していくかを描いたものです。

ゾーン分けは、都市計画マスタープランや土地利用方針で定めており、都市機能の誘導を目指しています。

その他 4	他市で開かれた講演会で、「浜松市はもともと大企業があったため、その傘の下で守られていたことから民間の底力がないのではないか。」という意見が出された。浜松市も持っている力は確かだと思うので、行政がリードしてまちづくりを引っ張っていくことが必要ではないか。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その他 5	他市では市街地の商店会が独自に企画して活性化を目指しているところもあると聞く。また、このビジョンが実現性を伴ったものとなることを期待する。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その他 6	常葉大学のキャンパスの寺島町への移転が予定されていることから、これを好機として若者が自然と集まるまちづくりを進めていただきたい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その他 7	他市では観光案内所が駅前にある。また、県庁に「おもてなし課」が設置されていた。県外から浜松を訪れる方が街の情報を入手できる場所があるとよいと思う。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その他	20年後を見据えた目標となっているが、20年後に中心市街地や郊外の人口はどう変わっているのか、さらに中心市街地活性化とはマンション等を建てて昼間人口を増やしたいのか又は住宅は郊外に建て昼間だけ
------------	--

8	にぎわうようにしたいのか、イメージがつかない。
----------	-------------------------

【市の考え方】 その他

浜松市の将来推計人口は、減少が見込まれておりますが、中心市街地については、昼間人口を増やす必要があると考えています。

その他 9	公共交通機関の充実や歩いてめぐることのできる環境は、具体的にどう作り上げるのか。現状を少しずつ変えるだけでは活性化にはなかなかつながらないと思う。
------------------	---

【市の考え方】 その他

ビジョンは、中心市街地の 20 年先の将来像をどのような価値観や行動指針で実現していくかを描いたものです。具体的な事業については、併せて策定する中心市街地活性化基本計画に登載し進めていく予定です。

その他 10	中心市街地活性化ビジョンはまちづくりに関することだと思うが、なぜ産業振興課が担当しているのか。
-------------------	---

【市の考え方】 その他

中心市街地活性化法が定める中心市街地活性化の目的は、都市機能の増進と経済活動の向上となっていることから、法に基づき策定する中心市街地活性化基本計画や本ビジョンは、地域経済活性化を所掌する産業部が所管しています。

質問 15	各地域に拠点を作り、それを IT でつなぐような、いわゆる分散型といった方法もあると思うが、中心市街地に集約する理由を教えてください。
------------------	---

【市の考え方】 その他

都市計画マスタープランにある拠点ネットワーク型のまちづくりの考え方を踏襲した上で、中心市街地活性化に向けた将来像と価値観・行動指針について、関係者と協議してまとめたものが今回のビジョンとなっています。

その他 11	他都市との違いについて考えてほしい。
-------------------	--------------------

【市の考え方】 盛り込み済

中心市街地のミッション（使命・存在意義）を Creative Hub と定義するなど、創造都市・浜松の特長を活かしたビジョンとしています。

その 他 12	「音楽の街」などソフト面で若者の心を掴むものがあるとよいと思う。
---------------	----------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その 他 13	中心市街地の駐車料金を少しでも安くしてほしい。
---------------	-------------------------

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

その 他 14	東京や横浜市、名古屋市などと同じことをやってもダメで、そのような大都市から人を呼ぶために、発想の転換やユニークなまちづくりも必要と考える。
---------------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その 他 15	浜松城の再興に向けては、浜松市役所および現美術館を移転し、浜松城の視認性を高めるとともに、浜松城公園を再整備することが重要である。市役所移転により生まれる空間を、発掘調査や史跡の復元に活用することで、浜松城の歴史を体感できる公園へと質的な向上を図る。さらに、野外音楽堂などの文化・芸術施設を整備することで、歴史的景観の中で音楽や表現活動が日常的に行われる場を創出する。浜松城が街の中で自然と目に入り、人が集い、語り合い、滞在する空間となることで、城は単なる史跡ではなく、「人と挑戦、創造が集まる象徴的な場」へと進化する。
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その 他 16	浜松駅によって隔たりが生じていた南北の市街地を、一体的な都市空間として捉え直すことが必要である。市役所をアクト通りに移転することで新たな人の流れが生まれ、アクト通りは行政・文化・経済をつなぐ都市軸として機能し始める。また、駅北の静岡文化芸術大学と駅南に移転予定の常葉大学を核に、街中の各種学校や学びの拠点を結ぶ通りを形成することで、学生や若者が日常的に南北を行き交う都市構造が生まれる。さらに、浜松駅周辺で進む企業の本社機能や拠点機能の集積を都市戦略として定着させることで、駅周辺は「働く」「学ぶ」「暮らす」「楽しむ」機能が近接したエリアへと進化する。これにより、浜松駅は「南北を隔ててきた場所」から「人と活動をつなぐ結節点」へと役割を変え、
---------------	---

	昼間人口や交流人口の安定的な確保、地元企業の成長支援、さらには他県からの企業誘致や人材流入につながると考える。
--	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

その他 17	はまホール跡地に新たな美術館を整備し、浜松城公園、アクト通り、浜松駅周辺を回遊できる動線を形成することで、市民や来訪者が目的を持たなくても自然と歩きたくなる街が生まれる。日常的に人が歩き、滞在し、街を楽しむ環境を整えることが、中心市街地に継続的な賑わいを生み出す。
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、施策を進めていく上での参考とします。

提案 12	<p>【該当箇所】 ミッションおよびビジョン全体</p> <p>【意見】 世界水準やクリエイティブシティを目指すという方向性は理解できるが、その前提として、持続可能性や自然環境との関係がビジョン全体の中でどのように位置づけられているのかが、やや読み取りにくいと感じた。</p> <p>【提案】 浜松市がこれまで SDGs をはじめとした環境分野の取り組みを積み重ねてきたことを踏まえ、世界水準や創造性、豊かさといった価値と、環境や持続可能性との関係について、考え方を補足的に示してはどうかと考える。 例えば、 ・浜松のリソースを活用した、環境負荷の低い暮らしや技術開発 ・短期的な利便性やにぎわいと、長期的な環境負荷の捉え方 といった視点が示されることで、ビジョンの時代認識がより明確になるのではないだろうか。</p> <p>【理由】 現在、都市の価値や魅力は、環境や持続可能性との関係性を含めて評価されることが多く、浜松市が強みとしてきた分野とビジョンとの関係が明確になることで、計画全体の説得力や納得感がより高まると感じたため。</p>
--------------	--

【市の考え方】 案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン（案）P4

（修正前）

「浜松市の中心市街地は、民間と公共が連動し、次々と新しい価値が生まれる舞台です。活発な投資とインフラ整備が、エリア全体の可能性を引き出し、駅の南北がつながることで、まち全体がひとつの大きな魅力となって広がります。まちなかで

は、挑戦と成長が止まることなく、描いた未来が着実に現実となっていきます。」

「Point02 民間投資を誘発する公共投資やインフラ整備が活発なまち」

(修正後)

「浜松市の中心市街地は、民間と公共が連動し、次々と新しい価値が生まれる舞台です。脱炭素社会への移行も意識した活発な投資とインフラ整備は、地域経済の持続可能性や活性化をもたらし、エリア全体の可能性を引き出します。浜松駅の南北がつながることでまち全体がひとつの大きな魅力となって広がり、挑戦と成長が止まることなく、描いた未来が着実に現実となっていきます。」

「Point02 脱炭素社会への移行に配慮した民間投資を誘発する公共投資やインフラ整備が活発なまち」

提 案 13	<p>【該当箇所】 ビジョン全体 (「クリエイティブ」「クリエイター」という表現について)</p> <p>【意見】 ビジョンの中で「クリエイティブ」「クリエイター」という言葉が使われているが、市民の中には、これらを専門職やアーティストを指す言葉として受け取り、自分は当事者ではないと感じてしまう人もいないかを感じた。</p> <p>【提案】 クリエイティブやクリエイターを、特定の職業や表現活動に限定しない考え方であるのであれば、その位置づけをより明確に示してはどうかと考える。 例えば、</p> <ul style="list-style-type: none">・日常の暮らしや仕事、子育て、学びの中での工夫や創意も含まれること・特別な才能や職業に限らない概念であること <p>といった点が示されることで、より多くの市民が自分ごととして受け取りやすくなるのではないだろうか。</p> <p>【理由】 誰もが何らかの形で創造性を発揮しているという前提が共有されることで、ビジョンが一部の人のものではなく、市民全体の指針として理解されやすくなると感じたため。</p>
-----------------------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》●浜松市中心市街地活性化ビジョン（案）資料編 P16

(修正前)

なし

(修正後)

「クリエイティブ」・「クリエイター」の用語解説を追加
クリエイティブ

・新しいアイデアや独創的な価値を創造する姿勢や能力を指す。特別な才能ではなく、誰しものが備えているもの。

クリエイター

・新しいアイデアや独創的な価値を創造する人。クリエイティブな活動を行う全ての人。

その他 17	浜松市中心市街地活性化ビジョン（案）には核となるものがない。ハード面でもソフト面でも売りになるものを粘り強く考えてほしい。
-------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

浜松市中心市街地活性化ビジョン



MISSION — 使命・存在意義 —

未来へ紡ぐ “CREATIVE HUB”

多様な人の交流と、それによるイノベーションにより
地域経済の成長を支える「Glocal Creative City」の中心地

浜松市は、挑戦を恐れず、開かれた心で新たな価値を生み出してきたまち。

グローバル企業を輩出してきたその原動力は、

人と人が出会い、つながり、育ち合う中心市街地にあります。

いま、価値観やライフスタイル、社会が大きく変化する中で、

中心市街地に求められる役割も多様化しています。

私たちは、過去から現在へ受け継がれてきた中心市街地の普遍的な価値と存在意義を見つめ直し、

さらなる飛躍を遂げるため、未来へと紡いでいくビジョンを描きます。

浜松市の中心市街地から、未来への挑戦が、また始まる。

計画期間：2026年4月～2044年3月



歴史、文化、未来に触れ、 豊かさを実感する 世界水準のまち

市民の暮らしを支える都市機能が充実し、国内外からの来訪者が歴史、文化、技術など浜松市特有の魅力に触れ、豊かさを感じることができる質の高い環境が整備されていく。

中心市街地が結び目となり、創造都市・浜松を舞台とした世界の多様な人々や企業が交わるにより生み出されるアイデアや挑戦が新しい価値を創造し、地域経済の成長を実現する。

市民が誇りを持てるより良い未来を描きます。



世界を魅了する。 創造は無限大。

浜松市の中心市街地は、文化や芸術が日常に溶け込み、個性豊かな人々が集い、互いに刺激し合いながら新しい価値を生み出す場所です。多様な企業や人材が活躍し、国際的な視点を持った暮らしや働き方が広がるこのまちでは、歴史や伝統、クリエイティブな活動が魅力となって人々を惹きつけます。まちなかから浜松の輝きが世界へと広がっていきます。



Point
01

創造都市・浜松を象徴する文化芸術活動や市民活動が盛んなまち

Point
02

グローバル企業や人材が惹かれ、集まる、
世界水準の暮らしや働き方を実現するまち

Point
03

歴史、文化、クリエイティブな人材や活動など
都市の魅力を世界に発信するまち





VALUE — 価値観・行動指針 —

成長を止めない。 未来を現実に。

浜松市の中心市街地は、民間と公共が連動し、次々と新しい価値が生まれる舞台です。脱炭素社会への移行も意識した活発な投資とインフラ整備は、地域経済の持続可能性や活性化をもたらし、エリア全体の可能性を引き出します。浜松駅の南北がつながることで、まち全体がひとつの大きな魅力となって広がります。まちなかでは、挑戦と成長が止まることなく、描いた未来が着実に現実となっていきます。



Point

01

活発な民間投資によるエリアリノベーションにより
新たな価値が創出されるまち

Point

02

脱炭素社会への移行に配慮した民間投資を誘発する公共投資や
インフラ整備が活発なまち

Point

03

浜松駅の南北が共存し、互いの魅力を補完する回遊性の高いまち

心豊かな暮らしへ。 浜松愛をもっと。

浜松市の中心市街地では、新しいお店と歴史ある老舗が肩を並べ、日々の暮らしに彩りを添え、多彩なサービスや人との出会いが新鮮な発見と心地よさをもたらします。また、福祉・医療・子育て支援などの多様なサービスが安心を支え、誰もが地域の中で自分らしく過ごせる居場所となっています。次世代を担う子供たちをはじめとした多くの人々が、まちなかで過ごすほど、浜松への愛着と誇りが自然と深まっていきます。



Point

01

魅力的な店舗やサービスが市民のWell-beingを支える健康で文化的なまち

Point

02

暮らし、働き、学び、楽しむ、全ての人々が豊かさを実感する便利で快適なまち

Point

03

浜松の魅力がつまった市民の愛着や誇りを満たすまち

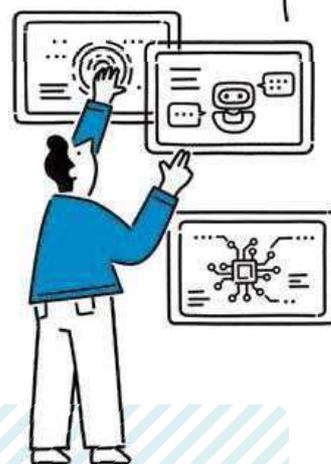




VALUE — 価値観・行動指針 —

共に挑む。 時代の先へ。

浜松市の中心市街地は、挑戦する人や団体が集い、まちの未来を切り拓くエネルギーに満ちた場所です。企業や市民の新たなチャレンジが次々と生まれ、先端技術や先進的な取り組みが都市の成長と共に歩みを進めています。日本初、世界初を目指す果敢な精神が息づき、まちなかから時代の一步先を行くまちづくりが動き出していきます。



Point

01

まちづくりを担う人材やエリアマネジメント団体が活躍するまち

Point

02

企業や市民のチャレンジを応援し、
先端技術や先進的な活動を都市の発展につなげるまち

Point

03

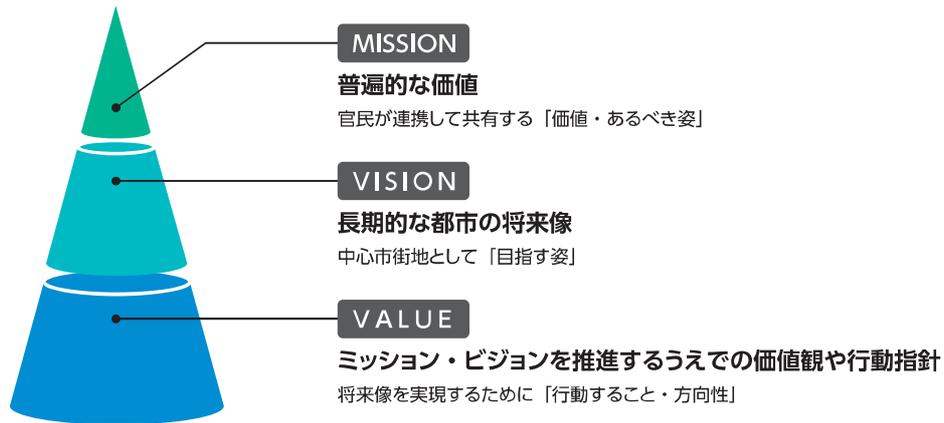
日本初、世界初へ果敢に挑戦する文化が根付くまち

MISSION・VISION・VALUEの構成

中心市街地の未来を描くために、MISSION・VISION・VALUEという3つの視点で整理を行いました。

「MISSION」では、このまちが果たすべき使命と存在意義を明確にし、
「VISION」では、目指すべき理想の将来像を描きました。
「VALUE」では、大切にしたい価値観・行動指針を定義しています。

この3つの指針が交わることで、中心市街地は、時代の変化にしなやかに応えながら、未来へと歩み続けます。

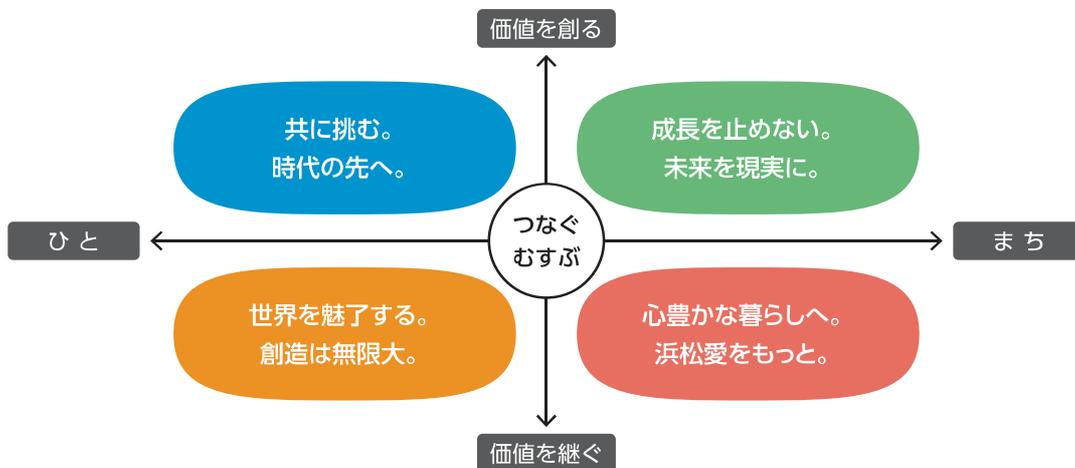


VALUEの構成について

VALUEは、「価値を創る・価値を継ぐ」、「ひと・まち」という二つの軸で描きました。

ひとつは、今あるものに新たな発想や技術を重ね、未来へと新しい価値を生み出す「価値を創る」と、受け継がれてきた伝統や文化、知恵を守り、次世代へとつなぐ「価値を継ぐ」という軸。
もうひとつは、中心市街地で活躍する「ひと」という主体と、その舞台となる「まち」という環境。

この二つの視点が交わることで、中心市街地に新たな価値が生まれ、未来へと受け継がれていきます。



浜松市中心市街地活性化ビジョン (資料編)

目次

1	浜松市中心市街地活性化ビジョン策定の背景.....	1
	(1) 主旨.....	1
	(2) 策定に至った背景・経緯.....	1
2	本ビジョンの位置づけ.....	1
	(1) 策定の流れ.....	1
	(2) 中心市街地活性化ビジョンの概要.....	2
	(3) 中心市街地の意義.....	2
3	計画期間.....	3
4	計画区域.....	4
5	協議体制.....	4
6	現状と課題.....	5
7	中心市街地の目指す姿・将来像.....	7
8	ビジョンの実現に向けて.....	15
9	用語解説.....	15

浜松市中心市街地活性化ビジョン 資料編
2026（令和8）年3月発行（2026～2044）

＜発行＞浜松市 産業部 産業振興課
〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2
電話：053-457-2285 FAX：053-457-2283
E-mail：shougyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

1 浜松市中心市街地活性化ビジョン策定の背景

(1) 主旨

- 中心市街地の活性化に向けては、市民をはじめ官民の様々な関係者が連携し、同じ目標に向かって、ともに取り組みを進めることが重要です。
- 本ビジョンは、中心市街地活性化に向けた将来像を目標として示し、市民の皆様とも共有するとともに、その実現に向けて、企業、関係団体、関係機関が一体となって中長期的に取り組むための方針等を示すものです。

(2) 策定に至った背景・経緯

- これまで中心市街地活性化に向けて、中心市街地活性化基本計画を、第1期計画(1999年)から第2期計画(2015年)まで策定し、その後は本市独自の「中心市街地活性化の方針」を策定し、取り組みを進めてきました。
- そのような中、令和5年度に「まちなか賑わい創出実現方策調査検討事業」を実施する中で、市民アンケート調査やまちなか関係者へのヒアリング調査等において、中心市街地活性化に向けて拠り所となる将来像策定を求める声が多くありました。
- そこで、令和8年3月末の認定を目指した中心市街地活性化基本計画を新たに策定するとともに、10~20年後を見据えた中長期的なビジョンのもと、市民をはじめ官民が連携して取り組みを進める必要があることから、本ビジョンの策定に至ったものです。

2 本ビジョンの位置づけ

(1) 策定の流れ

まちなか賑わい創出実現
方策調査検討事業(R5)

まちなかにぎわい創出
ワークショップ(R6)

中心市街地活性化基本計
画及び中心市街地活性化
ビジョンの策定(R6~R7)

- ✓ 統計データ、市民アンケート調査、にぎわい創出ワークショップ等により、中心市街地の課題や目指すべき方向性を整理。
- ✓ 前年度の枠組みを活かし、まち歩きなどの実証や意見交換・ディスカッションを重ね、チームごとに活性化に向けた課題整理と実行計画を作成・発表会を実施。
- ✓ 市民アンケート調査、タウンミーティング、学生・自治体ヒアリング調査、統計データなど、多角的な視点から中心市街地活性化に向けた課題を整理するとともに、浜松まちなかにぎわい協議会を中心とした意見交換・ディスカッションを踏まえ、中心市街地活性化基本計画及び中心市街地活性化ビジョンを策定。

(2) 中心市街地活性化ビジョンの概要

- MVV（ミッション・ビジョン・バリュー）を骨子とし、平易な文章とイラストで構成します。

➤ ミッション (Mission)	: 中心市街地の使命・存在意義 (価値・あるべき姿)
➤ ビジョン (Vision)	: 目標、理想の将来像 (目指す姿)
➤ バリュー (Values)	: 上記を推進するための価値観、行動指針



- これらを明文化することで、行政、市民、民間団体との共通認識をつくり、官民一体となり中心市街地活性化に向けた取組を実施していきます。

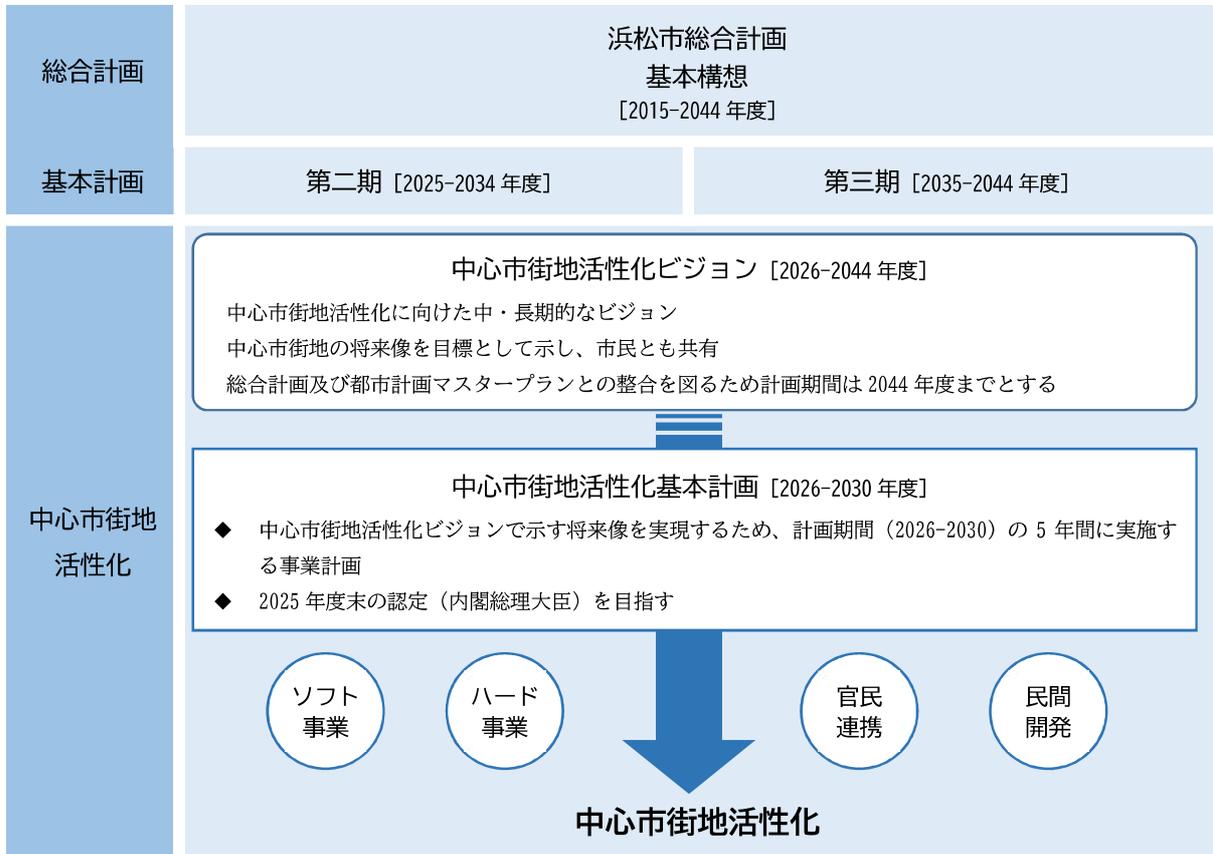
(3) 中心市街地の意義

- まちなかを拠点に活動する団体や事業者等とのタウンミーティング、学生・自治会へのヒアリング、アンケート調査等により様々な意見を聞くことで、まちなかに対する印象や思い、どのような課題があるかを抽出し、整理しました。
- また、令和5年度から実施してきた「まちなかにぎわい創出ワークショップ」や庁内若手職員を対象としたワーキングや庁内・庁外協議会において、どのようなまちなかを目指していくか、目指す将来像について協議を行いました。
- 上記取組から見えてきた中心市街地としての定義は、以下のとおりです。

- 浜松市は、これまでやらまいか精神と称される開放的で何事にも恐れずに前向きに挑む市民気質のもと発展してきた都市であり、多くのグローバル企業を輩出してきた。
- また、中心市街地は発展を支える人々が交わり、つながることで新たなモノ、コトを生み、はぐくみ、つなぐ、いわば苗床として機能してきた。
- 一方、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、変化が激しく不確実性が高まる社会経済環境などを背景に、中心市街地に求められる役割や機能が多様化しているが、その要求に十分に答えることができず、都市における中心性や求心力が相対的に低下している状況にある。
- このような中、中心市街地が引き続き、浜松市の発展を支える苗床として機能していくためには、中心市街地が有する普遍的な価値や存在意義を改めて確認し、未来へ紡いでいくことが重要であるとの認識のもと、その指針となるビジョンを策定するものである。

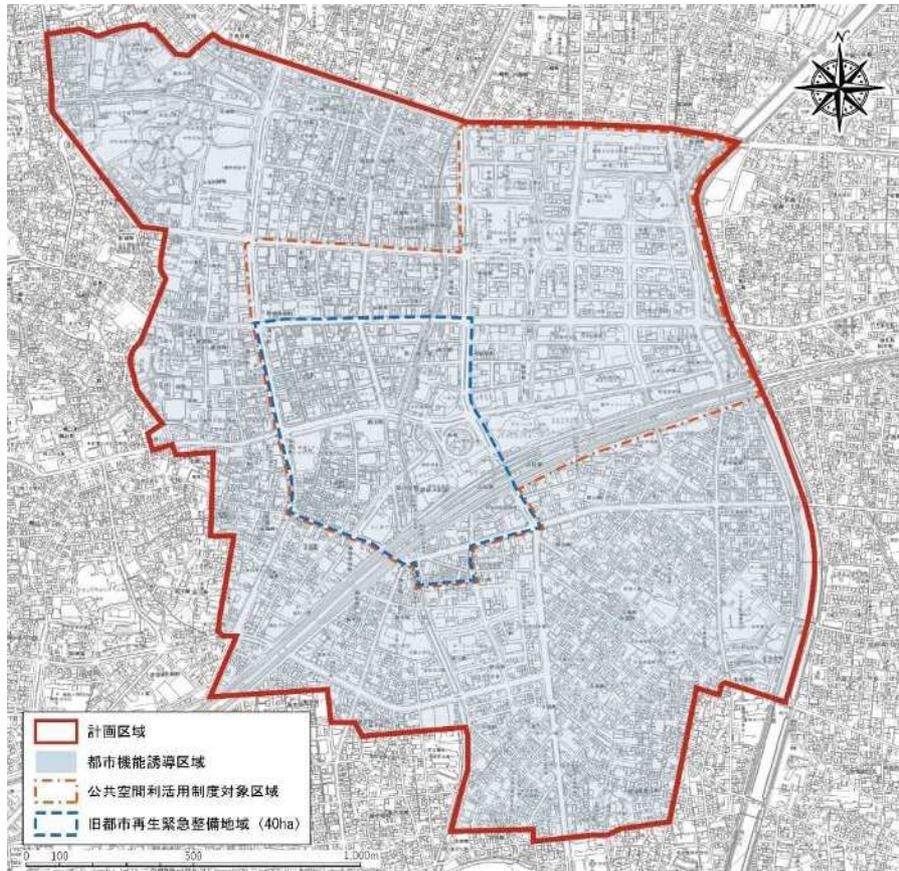
3 計画期間

- 本ビジョンの計画期間は、浜松市総合計画及び浜松市都市計画マスタープランとの整合を図るため、『2026（令和8）年度から2044（令和26）年度（19年間）』までとします。



4 計画区域

- 中心市街地活性化ビジョンの計画区域は以下とします。

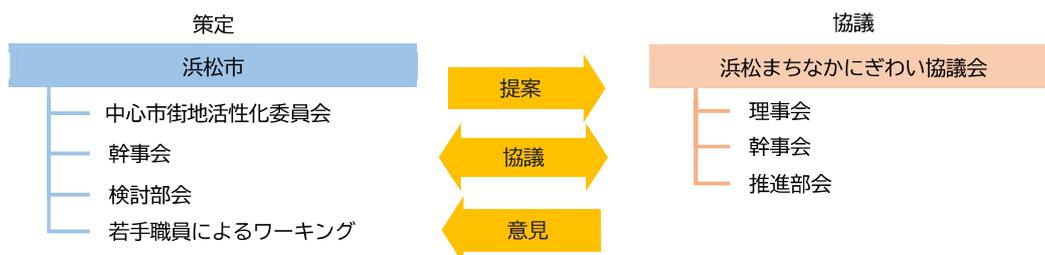


5 協議体制

- 中心市街地活性化ビジョンは、「中心市街地活性化基本計画」と同時に策定していることから、同計画と同様の協議体制で策定しています。

■協議体制（中心市街地活性化基本計画および中心市街地活性化ビジョン）

中心市街地活性化基本計画は、中心市街地活性化法に基づく国の認定を受ける必要があるため、まちづくり会社、商工会・商工会議所、地域住民等の多様な主体、担い手の参画を得た協議の場が組織されることが求められているため、浜松まちなかにぎわい協議会を協議機関として、中心市街地活性化ビジョンとあわせて策定を進めています。



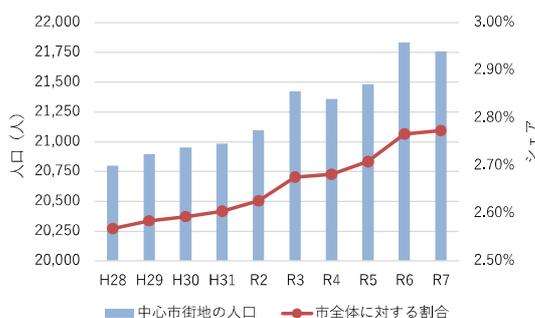
6 現状と課題

- 統計データ、市民アンケート調査、タウンミーティングなど関係者との意見交換などから、中心市街地の現状ならびに活性化に向けた課題を整理しました。

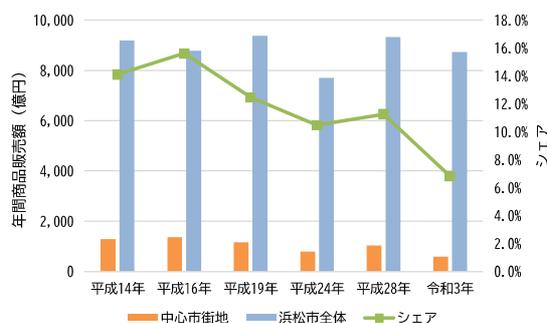
統計資料等

- マンション開発・供給が進み、中心市街地の人口・世帯は増加傾向
- 民間主導によるイベント開催が定着、コロナ後の賑わい回復に寄与
- コワーキングスペース等の新設、スタートアップの集積
- 大学、専門学校等の移転計画と新たなにぎわいへの期待
- 中心市街地商業は売場面積、販売額ともに大きく減少・衰退
- にぎわいの回復も休日に限定、場所にも偏りがみられる
- コロナ以前と比較し、売上や来客が回復途上である
- 空きテナントの需要回復も小規模物件が中心

中心市街地の人口の推移



浜松市全体及び中心市街地の年間商品販売額の推移



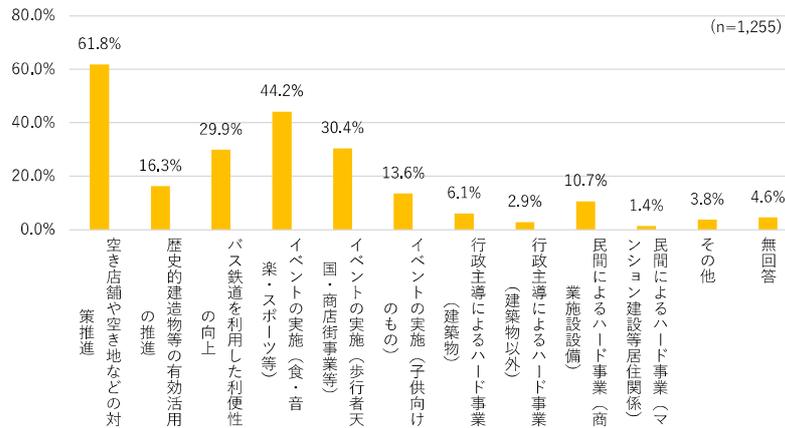
出典：区別・町字別世帯数人口一覧表（各年1月1日現在）

出典：平成19年までは商業統計調査、平成24年以降は経済センサス・活動調査

市民アンケート調査・ヒアリング調査

- 市民の多くは中心市街地活性化の必要性を感じる（83.5%）
- 中心市街地に対する満足度は十分でなく（39.7%）郊外からみた中心市街地の魅力低下（魅力を感じない：46.2%）、中心市街地居住者も郊外商業施設を日常的に利用している現状。
- 中心市街地へのアクセスは自家用車（63.7%）が中心であり、公共交通機関のアクセスやまちなかの移動などに対する不満が高く、訪れやすさや移動しやすさの改善が必要な状況である。
- 中心市街地活性化へ必要な取組として「空き店舗や空き地などの対策推進」「イベントの実施（食・音楽・スポーツ、ホコ天、商店街事業等）」等の意見が多い。
- 中心市街地での滞在時間増には「歩いて巡ることのできる環境整備」「バスなどの公共交通の充実」「魅力ある店舗や施設の増加」などが求められている。

中心市街地の魅力を高め活性化するために必要と思う取組
(市民アンケート調査)



自治会・商店会等タウンミーティング

- 道路で中心市街地のエリアが寸断している。アクト地区、浜松駅周辺、浜松城・五社神社エリアなどを連担させていくことが求められる。
- 子ども、女性、高齢者が遊べてゆっくり過ごせる場所が不足している。
- 中心市街地における人の流れと賑わいに偏りが生じている。
- 市街地内に大小様々な未活用地が存在している。
- 既存住民の高齢化率の高まり
- 生鮮食品や日用品が購入できるスーパーマーケットが不足している。
- 家族向けの飲食店や物販店が少ない。
- 歓楽街では朝にゴミが散乱しているため、まちの美化が必要である。
- 自転車が安全に通行するための道路が不足している。

中心市街地を取り巻く現状を踏まえた活性化に向けた課題(キーワード)



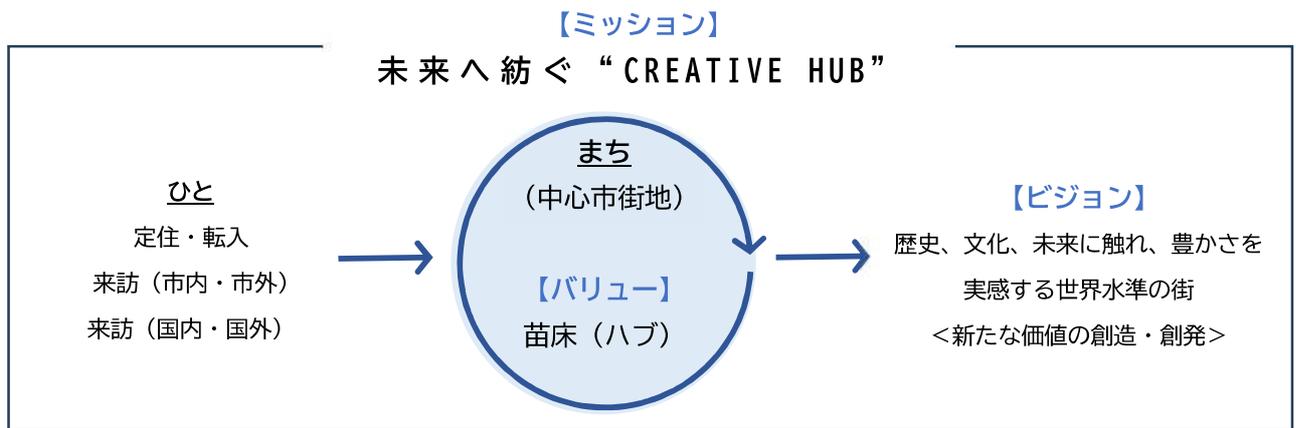
7 中心市街地の目指す姿・将来像

- 令和6年度に開催した「まちなかにぎわい創出ワークショップ」では、6グループより中心市街地活性化の事業計画案が提案されました。
- 事業計画案では、いずれも「ひと」が主役であり、多様な「ひと」を結びつける苗床（ハブ）として中心市街地が機能することで、これまで培われてきた価値を活かし、新たな価値を生み出していく、「ひと」と「まち」が未来を紡ぎ出していく考えが示されています。
- この考えをもとに、多様な「ひと」の活動が新たな価値を紡ぎ出すことを中心市街地の「ミッション」（使命・存在意義）とし、新たな価値を創造・創発することを「ビジョン」（目指す姿）、その推進に向けた中心市街地での取り組み方針をバリューとして導出し、整理しました。

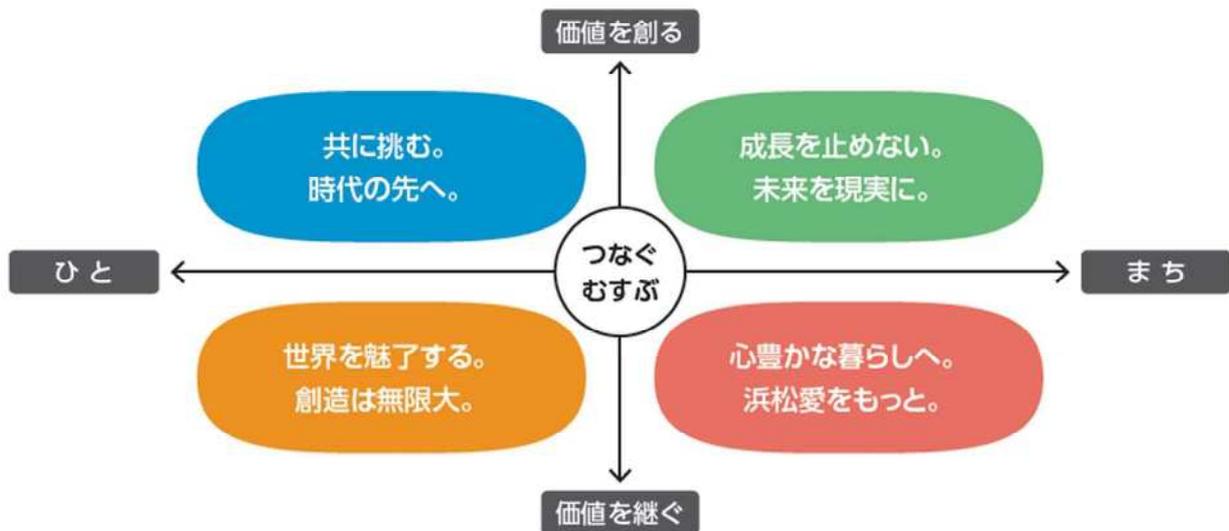
「令和6年度まちなかにぎわい創出ワークショップ」で提案された事業計画案

<h4>A:まちなかま</h4> <p>お母さんが我慢しない、コミュニティが広がる街</p> <p>04 The GATE HAMAMATSU 街地</p> <p>POINT1 暮らし（住居） POINT2 学び（教育） POINT3 遊び（レジャー）</p> <p>04 コンテナショップ</p> <p>■概要■</p> <p>子育てママをメインターゲットに、The GATE HAMAMATSU街地の活用方法を提案。 ・コンテナショップを整備し、ママのためのテナント（美容室、リスニングスクールなど）を誘致 ・子育て圏化することで、子供も楽しめる空間づくり</p>	<h4>B:熊と犬と仲間たち</h4> <p>週替わり〇〇マルシェ・路上アクアリウムによる一日楽しめる街中、歩いて楽しめる街中</p> <p>テーマは「1日楽しめる街中」「歩いて楽しめる街中」</p> <p>～新橋駅前だけでなく、まちなか各所で足を運んでもらうアクションプラン～</p> <p>●対象エリアは、「五社神社エリア」を提案 ・五社神社の周辺に子供が遊びたい場所がある五社神社公園 ・五社神社の上昇地区エリアまで歩くと道の駅を設け、まちなか活性化を図る</p> <p>●アクションプラン①「週替わり開催“〇〇祭り”」 ・週替わりでテーマ別を、週替わりでマルシェを開催 ・テーマにしたお菓子を、五社神社に工場が近いを理由に、五社神社の周辺で販売、まちなか活性化</p> <p>●アクションプラン②「路上アクアリウム」 ・五社神社を起点として、五社神社から五社神社公園まで路上アクアリウムを開催 ・路上アクアリウムは五社神社エリアまででサインpost「魚類」を立て設置 ・五社神社を起点として、五社神社公園まで路上アクアリウムを開催</p> <p>■概要■</p> <p>五社神社周辺を対象エリアとして、昼から夜まで一日楽しめる街中を提案。 ・週替わり〇〇祭り・五社神社前の通りを歩行者天国化し、週替わりでテーマが変わるマルシェを開催 ・路上アクアリウム・魚類～五社神社まで歩ルートを設定し、道路上にアクアリウムを設置</p>
<h4>C:あらしのよるに</h4> <p>選ばれるまちなか ～「学び」から始める日常のにぎわい創出戦略～</p> <p>「城」事業1 「浜松学」創案</p> <p>LIBERAL Hamama-tsu リベラル・ハママータツ</p> <p>大人も学生も考える「浜松学」 市役所周辺が放課後の学び舎</p> <p>■概要■</p> <p>浜松城址内に「日常的な学びの拠点」を整備することを提案。 ・浜松城公園内に学べるコンテナショップ等の様々なジャンルでのコンテナショップを誘致 ・「LIBERAL Hamama-tsu（リベラルハママータツ）」と称し、浜松学を学ぶ環境整備</p>	<h4>D:るつぼ</h4> <p>「ほこみち」を活用したにぎわい創出</p> <p>そもそも「ほこみち」とは？</p> <p>1. 街中の「ほこみち」を活用したにぎわい創出 2. 街中の「ほこみち」を活用したにぎわい創出</p> <p>■概要■</p> <p>駅前通りを「ほこみち」化することを提案。 ・ほこみち化することで、歩行者の利便性を高める空間の設置が可能になる ・路面での遊歩やサービスを気軽にチャレンジできる場を提供</p>
<h4>E:en</h4> <p>マチ・イク・プロジェクト ～まちにいく・まちではくくむ～</p> <p>まちで遊ぶ（遊ぶ） まちで働く（働く・人材育成）</p> <p>■概要■</p> <p>新川モールへソラまでの高層型空間を活用し、まちにいく・まちではくくむプランを提案。 ・まちにいく→地元企業に無料レンタルスペースを設け、魅力を高める場づくり ・まちではくくむ→地元企業による高層型空間など、地域の産業に無料レンタルスペースを提供</p>	<h4>F:チャーリーズエンジェル+α</h4> <p>「まちなかキャンパス」を起点としたにぎわい創出 ～若者が輝けるまちづくりを目指して～</p> <p>4. ビジョンを達成するためのアクション (1) まちなかキャンパスの創設 (2) 学生を起点とした3つのにぎわい創出プロジェクト</p> <p>■概要■</p> <p>学生をメインターゲットに、「まちなかキャンパス」を起点としたにぎわい創出プロジェクトを提案。 ・まちなかの空きテナント等を使って、まちなかキャンパスを創設 ・学生主体で継続的促進、学生カフェ、レストラン、地域文化盛り上げを行う</p>

中心市街地活性化ビジョンのMVVの関係性について



- バリューは中心市街地活性化に向けた具体的な取り組み方針を示すものであることから、ミッション、ビジョンを踏まえ、「価値を創る・価値を継ぐ」、「ひと・まち」という二つの軸で整理しました。
- この2つの軸が交わり、つなぎ、結ばれることで、中心市街地で新たな価値を創造・創発し、未来へと受け継がれていくことを目指します。



Mission (ミッション) : 使命・存在意義

未来へ紡ぐ“CREATIVE HUB”

- 多様な人の交流と、それによるイノベーションにより、地域経済の成長を支える「Creative City」の中心地。

Vision (ビジョン) : 理想の将来像

- Vision (ビジョン) は、中心市街地として「目指す姿」を設定しました。
- 浜松市の中心市街地の魅力や課題、今ある資源、今後活かすべき資源等を整理し、10年後、20年後の「未来の目標」や「将来こうありたい姿」を協議しました。
- また、将来像を設定し、イラストで表現することでイメージを共有しやすいように、イラストで表現しました。

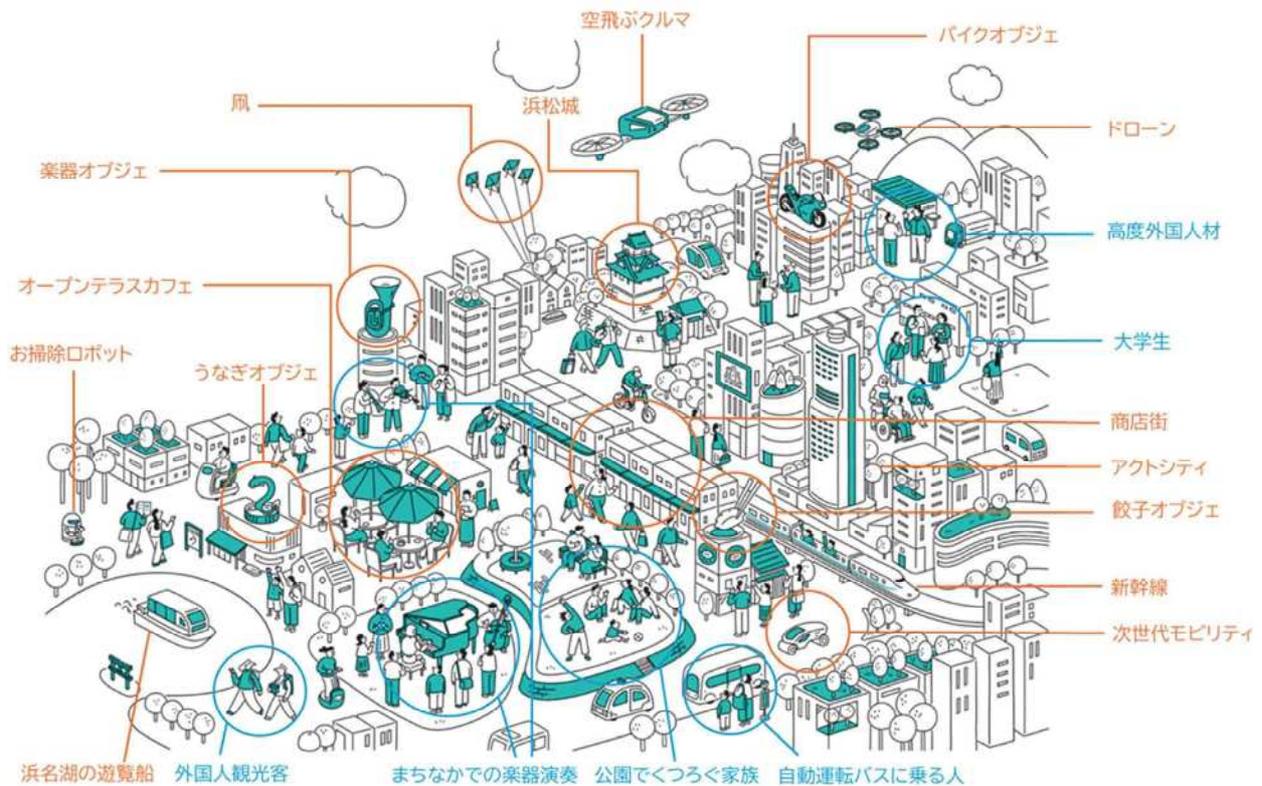
<キャッチコピー>

「歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち」

市民の暮らしを支える都市機能が充実し、国内外からの来訪者が歴史、文化、技術など浜松市特有の魅力に触れ、豊かさを感じることができる質の高い環境が整備されていく。中心市街地が結び目となり、創造都市・浜松を舞台とした世界の多様な人々や企業が交わるにより生み出されるアイデアや挑戦が新しい価値を創造し、地域経済の成長を実現する。市民が誇りを持てるより良い未来を描きます。

<ビジョンイラスト>

- 20年後の浜松市中心市街地の姿として、他の都市とは異なる「浜松らしさ」を持つ中心市街地を描きました。4つのバリューを踏まえ、実現したい価値観や行動指針をビジョンにも反映させることで、これまで浜松が育んできた価値を継承しつつ、未来の浜松市に必要な要素を加えています。そのため、バリューを構成する視点である「ひと（青字）」と「まち（オレンジ字）」の両面から中心市街地の姿を表現しています。
- まず、「ひと」の視点では、中心市街地に暮らす人や訪れる人の姿を通じて、将来の中心市街地の使い方を示しています。暮らす人が利便性や居心地の良さを実感でき、誇りを持てるまち、訪れる人にとって憧れとなる豊かさを表現しました。また、国内外から多様な人々が行き来することで生まれる交流や挑戦が形となり、人が集まることによるエネルギーに満ちた活動の様子も垣間見ることができます。
- 次に、「まち」の視点では、中心市街地が備えるさまざまな都市機能を示しています。「ひと」の視点で描かれた暮らしや活動を支える基盤となる都市環境が官民双方の投資や仕掛けによって実現していく、好循環の中心地としての姿を描きました。一方で、すべてを新しくするのではなく、過去から受け継いできた資産を活用し、時代に合った形へと変化させている様子も表現しています。



Value (バリュー)：価値観・行動指針

- Value (バリュー) は、Vision (ビジョン) 達成するために共有すべき価値観や具体的な行動指針を整理し、4つの Value (バリュー) を設定しました。
- 浜松市の中心市街地の魅力や今ある資源、今後活かすべき資源等を協議し、「未来の目標」や「将来こうありたい姿」をまとめました。
- 将来像を設定し、イラストで表現することでイメージを共有しやすいようにしています。

【世界を魅了する。創造は無限大。】

- 創造都市浜松を象徴する文化芸術活動や市民活動が盛んなまち
- グローバル企業や人材が惹かれ、集まる、世界水準の暮らしや働き方を実現するまち
- 歴史、文化、クリエイティブな人材や活動など都市の魅力を世界に発信するまち

<関連キーワード>

歴史・文化、魅力発信(メディア戦略)、浜松アーツアンドクリエーション、文化・芸術活動支援、国内外企業誘致、高度外国人材招請、インバウンド

<バリューイラスト>

- ・ 浜松市の中心市街地は、文化や芸術が日常に溶け込み、個性豊かな人々が集い、互いに刺激し合いながら新しい価値を生み出す場所です。
- ・ 多様な企業や人材が活躍し、国際的な視点を持った暮らしや働き方が広がるこのまちでは、歴史や伝統、クリエイティブな活動が魅力となって人々を惹きつけます。まちなかから浜松の輝きが世界へと広がっていきます。



【成長を止めない。未来を現実に。】

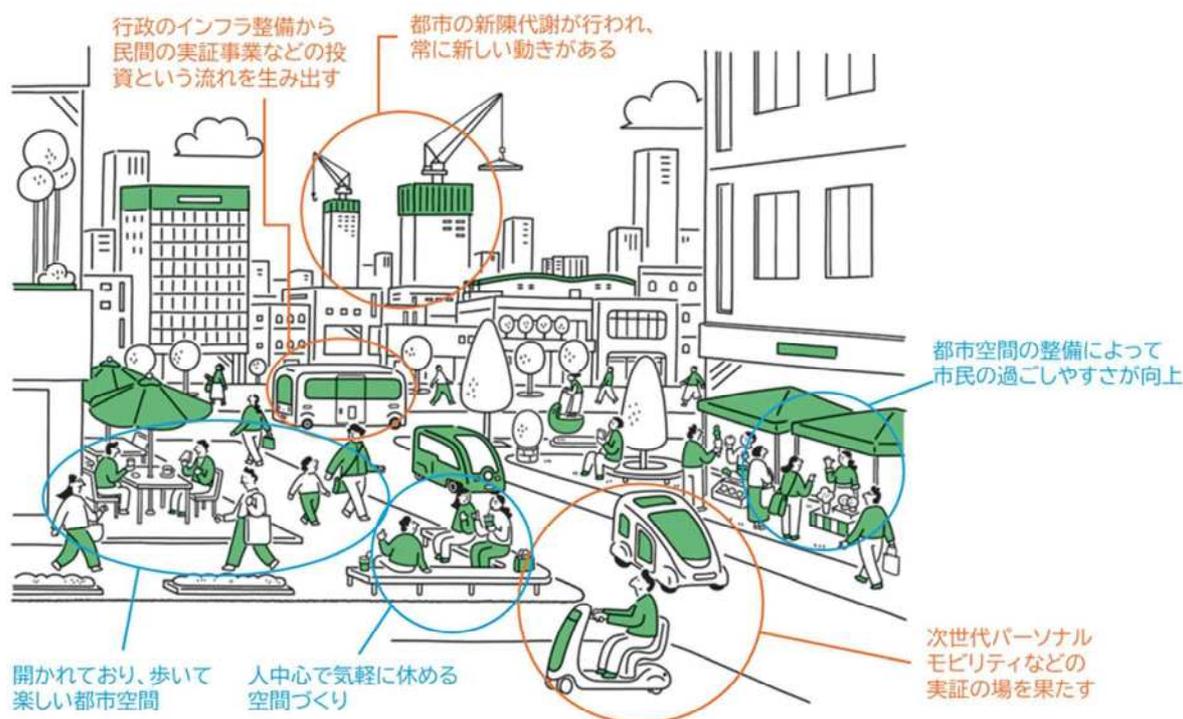
- 活発な民間投資によるエリアリノベーションにより新たな価値が創出されるまち
- 脱炭素社会への移行に配慮した民間投資を誘発する公共投資やインフラ整備が活発なまち
- 浜松駅の南北が共存し、互いの魅力を補完する回遊性の高いまち

<関連キーワード>

投資促進、ウォークラブルなまちづくり(トランジットモール、遊歩道、ネットワーク)、マイクロモビリティ、リノベーション促進、都市再生推進法人

<バリューイラスト>

- ・ 浜松市の中心市街地は、民間と公共が連動し、次々と新しい価値が生まれる舞台です。
- ・ 脱炭素社会への移行も意識した活発な投資とインフラ整備は、地域経済の持続可能性や活性化をもたらし、エリア全体の可能性を引き出します。浜松駅の南北がつながることで、まち全体がひとつの大きな魅力となって広がります。まちなかでは、挑戦と成長が止まることなく、描いた未来が着実に現実となっていきます。



【心豊かな暮らしへ。浜松愛をもっと。】

- 魅力的な店舗やサービスが市民の Well-being を支える健康で文化的なまち
- 暮らし、働き、学び、楽しむ、全ての人が豊かさを実感する便利で快適なまち
- 浜松の魅力が詰まった 市民の愛着や誇り を満たすまち

<関連キーワード>

居心地、商業集積・商業者支援、ウェルネス、学生・教育機関集積、買い物・スポーツ・憩いの場、インクルーシブ、就学・就労、子育て支援・人口増

<バリューイラスト>

- ・ 浜松市の中心市街地では、新しいお店と歴史ある老舗が肩を並べ、日々の暮らしに彩りを添え、多彩なサービスや人との出会いが新鮮な発見と心地よさをもたらします。また、福祉・医療・子育て支援などの多様なサービスが安心を支え、誰もが地域の中で自分らしく過ごせる居場所となっています。
- ・ 次世代を担う子供たちをはじめとした多くの人々が、まちなかで過ごすほど、浜松への愛着と誇りが自然と深まっていきます。



【共に挑む。時代の先へ。】

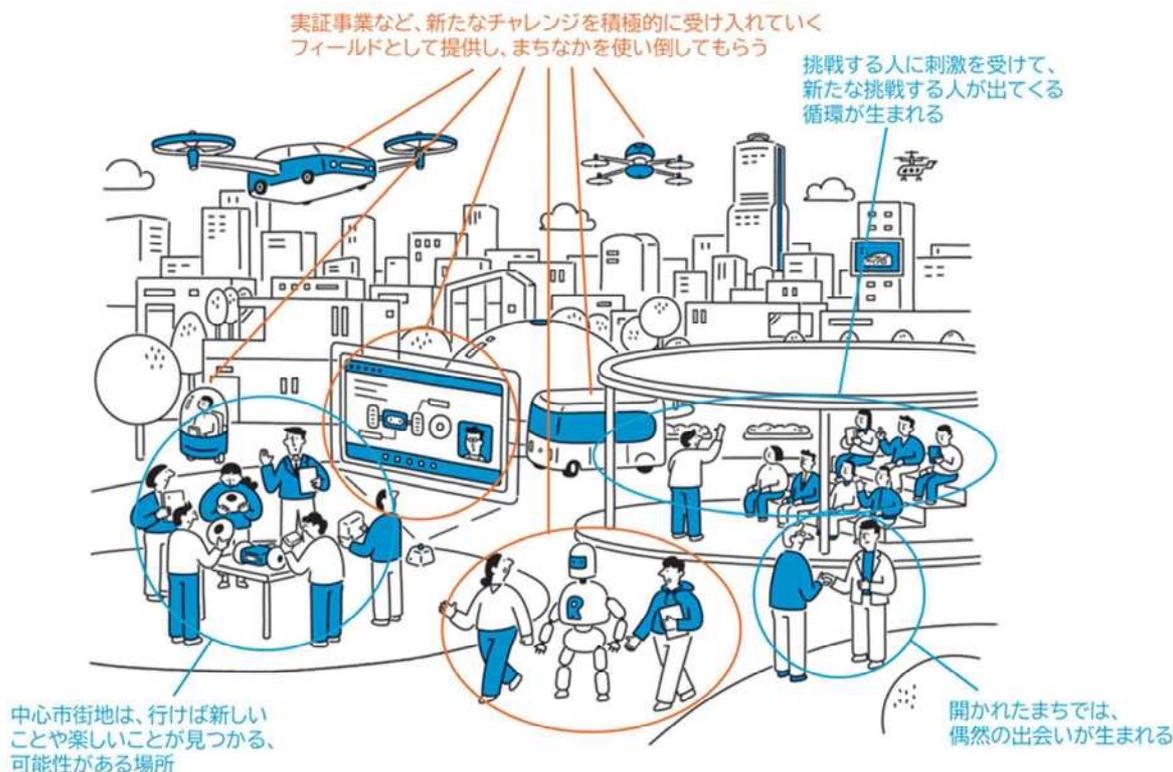
- まちづくりを担う人材やエリアマネジメント団体が活躍するまち
- 企業や市民のチャレンジを応援し、先端技術や先進的な活動を都市の発展につなげるまち
- 日本初、世界発へ果敢に挑戦する文化が根付くまち

<関連キーワード>

共創、イノベーション、DX支援、公共空間利活用、スタートアップ集積・実証実験

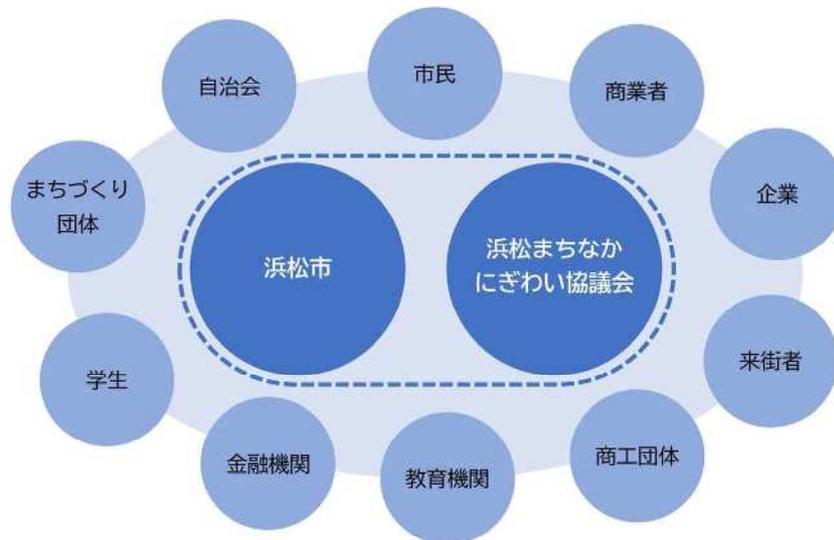
<バリューイラスト>

- ・ 浜松市の中心市街地は、挑戦する人や団体が集い、まちの未来を切り拓くエネルギーに満ちた場所です。
- ・ 企業や市民の新たなチャレンジが次々と生まれ、先端技術や先進的な取り組みが都市の成長と共に歩みを進めています。日本初、世界初を目指す果敢な精神が息づき、まちなかから時代の一步先を行くまちづくりが動き出していきます。



8 ビジョンの実現に向けて

- 浜松市と浜松まちなか協議会が緊密な連携を図りながら、中心市街地に関わる市民、商業者、民間企業、関係団体・組織などと連携し、中心市街地活性化に向けた取組を進めていきます。



9 用語解説

●「英数字」

用語	内容
Creative City (クリエイティブシティ)	創造性を活かした都市づくりを進める都市のこと。芸術・文化、デザイン、技術革新などの創造的活動を通じて、都市の魅力向上や経済発展を目指す。
CREATIVE HUB(クリエイティブハブ)	創造的な人材や企業、活動が集まり、交流・連携する拠点のこと。新しいアイデアやイノベーションが生まれる場として機能する。
DX(デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術を活用して、企業や組織の仕組みや働き方を根本的に変え、より良いサービスや価値を生み出すこと。
Glocal(グローカル)	Global(地球規模の)と Local(地域的な)を合わせた造語。地域性を考慮しながら、地球規模の視点で考え、行動すること。
MVV	Mission(使命・存在意義)、Vision(理想の将来像)、Values(価値観・行動指針)の頭文字。組織や地域の方向性を明確にするフレームワーク。
Well-being(ウェルビーイング)	心と体が健康で、人とのつながりも良好な状態のこと。病気がないだけでなく、生活に満足感や幸福感を感じられる豊かな暮らしを指す。

●「あ行」

インクルーシブ	年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、すべての人が排除されることなく参
---------	--

	加できる包括的な社会や環境のこと。
インバウンド	外国から日本を訪れる観光客のこと。訪日外国人観光客による消費活動も含む。
エリアマネジメント	住民や事業者が協力して、地域における良好な環境や魅力といった価値を維持・向上させる取り組み。
エリアリノベーション	既存の建物や地域を活用し、新たな機能や価値を付加して再生・活性化を図る取り組み。単体の建物ではなく、エリア全体を対象とする。

●「か行」

回遊性	人々がまち中を歩いて移動し、複数の場所を巡りながら滞在する性質のこと。商業地域では売上向上、観光地では満足度向上につながる。
<u>クリエイター</u>	新しいアイデアや独創的な価値を創造する人。クリエイティブな活動を行う全ての人。
<u>クリエイティブ</u>	新しいアイデアや独創的な価値を創造する姿勢や能力を指す。特別な才能ではなく、誰しものが備えているもの。
コワーキングスペース	異なる職業や所属の人々が共同で利用する仕事場のこと。個人事業主やフリーランス、スタートアップ企業などが利用する。
グローバル企業	世界規模で事業を展開する企業。浜松市が輩出してきた国際競争力を持つ企業群を指す。

●「さ行」

スタートアップ	革新的なアイデアや技術をもとに、短期間で急成長を目指す新興企業のこと。
創造都市	文化芸術や創造性を都市政策の中核に据え、それらを産業振興や都市再生に活用する都市モデル。浜松市が目指す都市像の一つ。

●「た行」

都市再生推進法人	都市再生特別措置法に基づき、市町村が指定する法人。都市再生に関する事業やまちづくりの推進を担う。
トランジットモール	公共交通機関(バス、路面電車等)と歩行者・自転車のみが通行可能で、一般車両の通行を制限した道路空間のこと。

●「は行」

ホコ天	歩行者天国の略。一定時間、道路を歩行者専用とし、車両の通行を禁止すること。イベントや賑わい創出に活用される。
-----	--

●「ま行」

まちづくり会社	中心市街地活性化法に基づき、まちづくりの推進を図ることを目的として設立された会社。TMO(タウンマネジメント機関)とも呼ばれる。
マイクロモビリティ	電動キックボードや小型電動車両など、短距離移動に適した小型で環境に優しい交通手段のこと。

民間投資を誘発	行政が道路や施設などを整備することで、民間企業が「この地域に投資したい」と思うようになり、実際に投資してもらうこと。
---------	--

●「や行」

やらまいか精神	浜松地域に根ざした「やってみよう」という前向きで挑戦的な気質・精神のこと。困難を恐れず新しいことに取り組む姿勢を表す。
---------	---